

TOPICS 5 馬場記念病院 勉強会、登録医集会・懇親会を開催

令和5年2月4日、馬場記念病院勉強会、登録医集会・懇親会を開催しました。

馬場記念病院では、地域の医療機関との連携強化のために登録医制度を設けています。本制度は、地域医療機関の先生方と当院とが、共に機能向上を図り地域医療の充実・発展に資することを目的としています。

日常の診療の場面では、さまざまな連携をとっていますが、より顔の見える関係を深められるように、開催しているのが「馬場記念病院勉強会／登録医集会・懇親会」です。ここ数年、コロナ禍で開催を見送らざるを得ない状況でしたが、令和5年2月4日(土)3年ぶりに開催することができました。ただし感染拡大防止のため、「会場参加」と「WEB参加」のハイブリット形式で開催とし、2会場合わせて約40名の先



生にご参加いただきました。

勉強会では、当院の医師から地域連携パスの運用実績報告、心房細動／アブレーション治療について、脳神経外科における合併症と再発予防、がん手術と栄養療法というテーマで講演が行われました。地域の先生方から多くの質問もいただき、大変有意義な勉強会となりました。

その後の登録医集会では、令和4年度の連携実績や施設認定、ペガサスグループの新たな取り組みについてのご報告、各診療科部長からのご挨拶をさせていただきました。

最後の懇親会につきましては、コロナ前は多くの人と交流できるよう立食形式で実施していましたが、今回は感染対策のため、テーブルにアクリル板を設置した着座での会食いたしました。開催前は、実際に先生方にご来場いただけるか心配でしたが、来場してくださった先生からは「連携強化のためには、このような機会は必要だ」との感想もいただきました。開催後も参加者からはコロナ陽性者は出ておらず、実施して良かったと手応えを感じています。

今後も連携医療機関の先生方と共に地域医療を支えるために、連携強化に努めていきたいと思っております。

第69回馬場記念病院勉強会・第24回登録医集会 (14:00～16:30)	
座長 脳神経内科 部長 北口 正幸	
①「地域連携パス運用実績報告」	リハビリテーション科 副院長 西尾 俊嗣
②「心房細動+アブレーション＝地域医療 ～心房細動と向き合うために～」	循環器科 部長 山下 啓
③「脳神経外科疾患における合併症と再発の予防 ～科学に基づく栄養の観点から～」	脳神経外科 部長 金本 幸秀
④「がん手術と栄養療法」	外科 病院長 大平 雅一

介護支援専門員・相談援助職・介護従事者向け ペガサス リモート セミナー 参加費無料

BCP締め切り直前!! ～居宅介護支援事業所が行うべきこと～

●講師：特別養護老人ホーム アリオン
ペガサスケアプランセンター石津北
施設長兼管理者 中辻 朋博

●開催日：2023年6月20日(火)16時～17時
●申込期限：2023年6月13日(火)
※内容、開催日等は変更になる可能性があります。

お問い合わせ／
ペガサスケアプランセンター石津北
072-245-7447(河内まで)
r-kawachi-cpc@pegasus.or.jp
お申し込みはQRコードから▶



ペガサス健診センターのご案内

ペガサス健診センターは、最新鋭の医療機器を使用し、適切な診断を提供しています。一般健診・企業健診、人間ドックなど、多彩なメニューからお選びいただけます。お問い合わせ／072-265-6006



ペガサスグループ 株式会社ユニコ

取り扱う紙おむつは150種類以上。大幅な値下げも実施中です。



●お問い合わせ
TEL:0120-062-505

私たちと一緒に働きましょう。

随時受付
しています

介護職員募集中! 正職員採用

いつでもご連絡いただければ、ペガサスグループの施設見学などへご案内します。どうぞお気軽にお問い合わせください。

障がいをお持ちの方、一緒に働きませんか

※障がい者手帳をお持ちの方。正職員への雇用変更もあり業務は、A)書類の印刷、製本 B)洗濯 C)清掃 D)データ入力 E)資料作成等。

お問い合わせ／馬場記念病院 人事課 TEL:072-265-9089



社会医療法人ペガサス公式 Facebook ページ
<https://www.facebook.com/s.m.c.pegasus>

ペガサスマンモサnder

開催予定

【開催日】(予定)

6/4(日)

7/2(日)

【開催時間】

9時～16時

【お問い合わせ】

TEL:072-265-6006
(ペガサス健診センター)

PEGASUS NEWS



ペガサスニュース

発行人/馬場武彦
発行/社会医療法人ペガサス
大阪府堺市西区浜寺船尾町東4-244
<http://www.pegasasu.or.jp/>
編集/ペガサス広報委員会
編集協力/HIPコーポレーション
発行/令和5年5月25日

Vol.106

ペガサスグループから新年度のご挨拶



社会医療法人ペガサス 理事長
社会福祉法人風の馬 理事長
馬場記念病院・ペガサスリハビリテーション病院 統括院長
ペガサス大阪南看護学校 学校長
馬場 武彦

新年度が始まり、新春とはまた違った期待と緊張を覚えています。皆さまの身近にも、新入学、新社会人など、新たな話題があるのではないのでしょうか。そうしたなか、政

府は5月に、新型コロナウイルスを、感染症法上5類に移行しており、これからはさらに、国民一人ひとりの感染リスクへの自覚と行動が大切になります。医療機関、介護事業所を擁するペガサスは、今後も決して気を緩めることなく、これまでと同様、感染防止対策に全力を注いでいきます。そしてそのなかには、今年4月に入職した職員117名の、未来への希望にあふれた顔もあります。新たな仲間とともに、皆さまをしっかりと支えるために、ペガサスは、地域の新たな姿をしっかりと見つめていきます。



馬場記念病院
病院長
大平 雅一

昨年度はコロナ対応で、患者さま、ご家族には大変な苦勞をおかけしました。本感染症も5月には5類に移行しましたが、医療機関としてはまだまだ気が抜けません。地域医療への貢献のために一致団結して頑張っています。



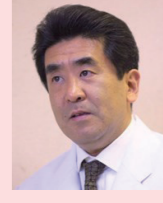
ペガサス
リハビリテー
ション病院
病院長
矢野 基

5月には新型コロナも5類に移行しましたが、今後も患者さまの安全を確保しつつ良質なリハビリテーションを提供し続けられるよう職員一丸となり努力します。関係者の皆さま、今年度もどうか宜しくお願いいたします。



介護療養型
老人保健施設
ベルセウス
施設長
南部 泰孝

ベルセウスでは急性期治療の後に治療の継続とリハビリテーションにてADLを拡大して自宅へ退所できるよう医師・リハビリなど全職種が最大限の努力をしています。新型コロナに対しても気を抜かず対応してまいります。



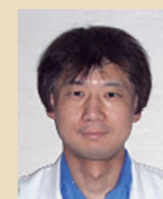
介護療養型
老人保健施設
エクウス
施設長
新田 敦範

当施設は、病後術後の機能回復を目指す施設として、専門多職種により運営されています。地域住民に愛され、ウイズコロナ時代においても安心して利用頂けるよう、職員一同、今年度も努力してまいります。



ペガサス
クリニック
院長
永田 安徳

新型コロナも5月には5類に移行しましたが、当院では継続して感染予防重視で診療しており患者さまにはご不便をおかけしますが、今年度も近隣施設とも連携し地域の診療所としての役割を果たしていきます。



ペガサスロイ
ヤルクリニック
院長
中林 孝之

当院はペガサスロイヤルリゾート石津併設の診療所で平成21年に開院しました。Withコロナのもと感染対策を臨機応変に行い、今年度も職員一同、当院にかかれる皆さまの健康管理に努めてまいります。



特別養護
老人ホーム
アリオン
施設長
中辻 朋博

新型コロナに対するさまざまな規制が緩和され、少しずつ以前の生活が戻りつつあります。今年度も地域社会に貢献すべく努力を重ねる所存です。引き続き、ご指導ご鞭撻を賜りますこと、お願い申し上げます。



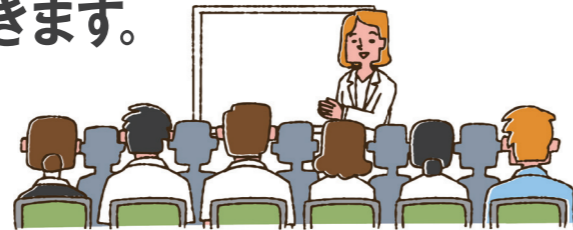
地域密着型
介護老人
福祉施設
エクウスプリオル
施設長
正本 恵子

新型コロナの感染状況が落ち着いてきていますが、気持ちを緩めることなく地域密着型介護老人福祉施設として、地域への貢献と、地域の皆さまに安心してご利用いただけるよう職員一同力を合わせてまいります。

医療的ケア児等コーディネーター養成研修

医療的ケア児等コーディネーター養成研修を実施。ともに悩み、考え、そして、ネットワークを築き、地域の支援体制強化をめざしていきます。

ペガサスは、堺市からの委託を受け、医療的ケア児等コーディネーター養成研修を実施しました。地域の医療的ケア児等の支援体制は、まだ完全ではなく、コーディネーターに求められる「答え」も決して一つではありません。研修受講でまず一歩を踏み出し、あるべき姿に挑戦していただきたいと考えます。



自分の眼で確かめ、新しいサービス創設をめざす

研修の参加者は、医療的ケア児等の支援に関わる方、または関わる予定の方の30名。講義では、医療、本人・家族の思いの理解に始まり、福祉、ライフステージにおける支援、支援体制整備、計画作成のポイントなどを。演習では、事例をもとにした計画作成、事例検討などを行いました。

そのなかでペガサスからの提案は二つ。実際に医療的ケア児等の支援を行うペガサスの保育園を視察し、参加者の眼で、医療的ケア児等の実際を見ていただくこと。そのうえで、「新しいサービスの創設」を念頭に、計画作成、検討を進めていくというものです。

参加者たちは、机上論ではなく、現実に即した学びを得ることができたと考えます。

仲間、ネットワークを築き、ともに悩みながら進む

ペガサスではこれまで、脳神経外科領域で高齢者を中心に、脳神経疾患の方を治療し、障害を持ちながらも、生活をしていくための支援を行ってきました。医療的ケア児等の支援は、その延長線。高齢者であろうと、児童であろうと、障害があらうと、健常者（児）とともに生活する環境づくりに力を注いでいます。

医療的ケア児等コーディネーター養成は、その一つ。コーディネーター制度も、また、地域の医療的ケア児等の支援体制もまだ堅牢とはいえませんが、研修受講をきっかけに、仲間とネットワークを作り、ともに悩みながらも、地域の医療的ケア児等の支援を切り拓く「人財」輩出を、ペガサスはめざしていきます。

生活支援システム構築の要的な存在

ペガサスでは、堺市の事業である医療的ケア児等コーディネーター養成研修を、2022年12月2日・3日（講義）、16日・17日（演習）の計4日間、また、フォローアップ研修を2023年2月24日に実施しました。

「医療的ケア児」とは、日常生活や社会生活を送るために、恒常的に医療的ケア（人工呼吸器による呼吸管理、喀痰吸引その他の医療行為）を受けることが不可欠である児童（18歳以下の高校生等を含む）のことをいいます。

そして、「医療的ケア児等コーディネーター」とは、医療的ケア児等の支援を総合的に調整する人材。医療的ケア児等に対する専門的な知識と経験によって、関係機関との連携を図り、生活支援システム構築の要としての役割を担っています。

ペガサスでは、法人グループにて、障害福祉サービス利用に必要な計画書の作成などを行うペガサス計画相談支援センターを2カ所設置し、多くの医療的ケア児を担当。また、インクルーシブ保育（医療的ケア児と健常児が一緒に学ぶ保育）を実施する保育園を有するなどの実績が認められ、堺市から本研修事業を委託されました。

堺市においては、外部での研修実施は初めてのことであり、プログラム検討会議の参加、講師派遣などの準備についても、ペガサスは積極的な関わりを果たしました。

医療的ケア児に関する「なんでも相談室」開設！

医療・福祉の多職種チームが、皆さまと一緒に考えます。

- 対象者**
- 医療的ケアを必要とするご本人、ご家族
 - 事業所の皆さま
 - 医療的ケア児等コーディネーターの皆さま

こんな時の相談に

- この吸引の仕方でもちがってない？
- 医療行為に自信がない
- ゆっくり買い物に行きたいけど、預かってくれる所ないかな？
- 普通学校に行きたいけど、無理かな？
- 医療的ケア児を事業所で受け入れたいけど、不安

ご相談は無料

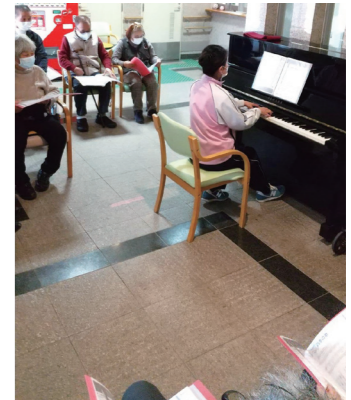
ご相談窓口

- ペガサスレスパイトケアセンター
TEL 072-262-0006
Mail pegasus_respitcarec@galaxy.ocn.ne.jp
- ペガサスこどもデイセンター
TEL 072-264-3662
Mail ryoyotsusho@sakai.zaq.ne.jp
- ペガサスこどもデイセンター福泉
TEL 072-275-0033
Mail fukuizumi-t@pegasus.or.jp

1 社会福祉法人風の馬 雅老園 ピアノ鑑賞会開催

脱コロナのご利用者サービスをめざしピアノ鑑賞会を毎月開催しています。

コロナ禍の約3年間、ペガサスデイサービスセンター雅老園でもさまざまな感染予防のための規制を実施してきました。ご利用者にもご理解とご協力を求めてきました。少しづつ国としての規制も緩和される中、雅老園でも脱コロナのサービスをめざし、ピアノ鑑賞会を開催することになりました。エントランスにピアノを設置し、ペガサスグループの保育園の園長等に生演奏を披露してもらっています。懐かしい歌謡曲や童謡を選曲し、一緒に参加いただけるようタンバリンや鈴もご用意しました。はじめは遠慮がちだったご利用者も、途中からは一緒に口ずさんだり、楽器を鳴らし楽しんでくださっています。令和4年11月に初開催して以降、毎月1回開催しています。今後もコロナ感染対策には気を抜かず、ご利用者に喜んでいただけるサービス提供をめざします。



2 社会医療法人ペガサス/社会福祉法人風の馬 シンガーソングライター隼さんコンサート

沖縄在住のシンガーソングライター隼さんがペガサス・風の馬の施設で生演奏を披露。

コロナ前には毎年来阪いただきコンサートを開催していた沖縄在住のシンガーソングライター隼（JUN）さんが、令和4年12月21日、久しぶりに生演奏で素敵な歌声と演奏を披露してくださいました。当日は朝から夕方まで、ペガサス、風の馬の6施設を回っていただきました。有名な「なだそうそう」「ハイサイおじさん」からオリジナル「三線の音」などを歌ってくださいました。感染予防のため、



ご利用者のご家族や近隣住民などの外部からの参加は遠慮いただきましたが、各施設20～30名の参加者があり、声をあげる代わりに、手拍子やタオルを回すなどして大変盛り上がりました。今後もご利用者の思い出になる企画を考えていきたいと思ひます。

3 社会医療法人ペガサス スポーツエールカンパニー2023認定

令和3年から3年連続の認定！ペガサス運動会等の運動推進が高評価。



スポーツ庁では、従業員の健康推進のためにスポーツの実施に取り組む企業、また日常での階段利用、徒歩・自転車通勤、スタンディングミーティングの推進など、スポーツに限らず従業員の健康増進に積極的な企業を「スポーツエールカンパニー」として認定しています。ペガサスでは「ペガサス大運動会」や「ペガサスチャレンジ」などが高い評価を受け、3年連続で認定されました。

4 社会医療法人ペガサス/社会福祉法人風の馬 働きやすく魅力あふれる介護事業所等表彰

令和4年度 堺市から働きやすく魅力あふれる介護事業所として表彰。

介護人材の確保と育成のため、介護サービスの質向上ため、労働環境の改善や業務の効率化などに取り組み魅力的な職場づくりに努めている介護事業所等として、ペガサスの6事業所、風の馬の3事業所が、堺市より表彰されました。合わせて同一法人で10年以上勤務し、介護サービスの質向上に寄与する職員として両法人から3名の職員が表彰されました。

